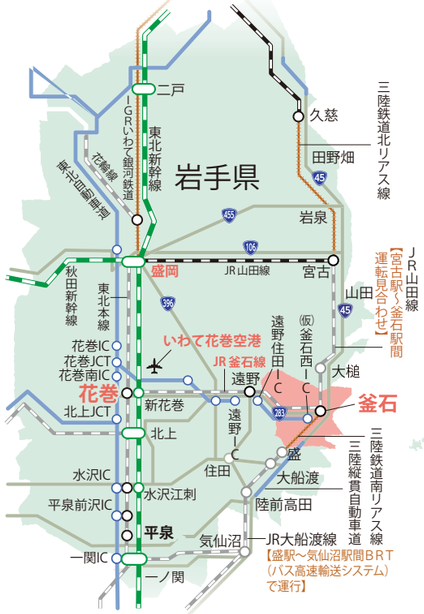
かまいしアクセスガイド



高速バス

池袋	遠野・釜石号 約10時間	釜石(釜石経由山田行き)
池袋	けせんライナー 約9時間14分	釜石
仙台	釜石・仙台線 約3時間44分	釜石

鉄道

- 東京 —東北新幹線 約2時間30分→ 一ノ関 —約30分→ 新花巻 —JR釜石線 約2時間→ 釜石
- 東京 —約2時間10分→ 盛岡 —JR東北本線 約40分→ 花巻 —JR釜石線 約65分→ 遠野 —JR釜石線 約60分→ 釜石
- 東京 —東北新幹線 約1時間30分→ 仙台
- 仙台 —約35分→ 一ノ関 —約30分→ 新花巻 —JR釜石線 約2時間→ 釜石
- 仙台 —約40分→ 盛岡 —JR東北本線 約40分→ 花巻 —JR釜石線 約65分→ 遠野 —JR釜石線 約60分→ 釜石
- 新函館北斗 —約60分→ 新青森 —約50分→ 盛岡
- 秋田 —秋田新幹線 約1時間30分→ 盛岡

自動車(東北自動車道・八戸自動車道・釜石自動車道・国道)

- 青森IC —約1時間20分→ 安代JCT
- 八戸IC —約50分→ 安代JCT
- 安代JCT —約45分→ 盛岡IC
- 安代JCT —約1時間50分→ 岩泉 —約40分→ 田野畑 —約50分→ 久慈
- 田野畑 —約60分→ 宮古 —約40分→ 山田 —約25分→ 大槌 —約20分→ 釜石 —約45分→ 大船渡 —約25分→ 陸前高田
- 盛岡IC —約2時間→ 宮古
- 盛岡IC —約25分→ 花巻JCT —約10分→ 北上JCT —約20分→ 平泉前沢IC —約10分→ 一関IC —約1時間25分→ 仙台宮城IC —約3時間22分→ 浦和本線IC
- 花巻JCT —釜石自動車道 約5分→ 花巻空港IC —約35分→ 遠野IC —約15分→ 遠野住田IC —約25分(仙人峠道路)→ (仮)釜石西IC —約15分→ 釜石

283 45 は一部無料高速道路利用

※所要時間は目安です。

【お問合せ先】
釜石鵜住居復興スタジアム
〒026-0301
釜石市鵜住居町第 18 地割 5 番地 1
TEL:0193-27-5067
釜石市ラグビーワールドカップ 2019
推進本部事務局
TEL:0193-27-8420
FAX:0193-31-1170
Mail:rwc2019@city.kamaishi.iwate.jp

スポーツくじ toto BIG

この釜石鵜住居復興スタジアムは、スポーツ振興くじ助成金を受けて整備されたものです

KAMAISHI UNOSUMAI MEMORIAL STADIUM

スタジアムのロゴ
スタジアムを囲む豊かな自然を表現。左上の赤い円は、「新しい出発」の意味を込めて、海からの「日の出」を表現し、３つのウェーブは、豊かな緑、山林、解放された空というスタジアムの個性を表現しています。

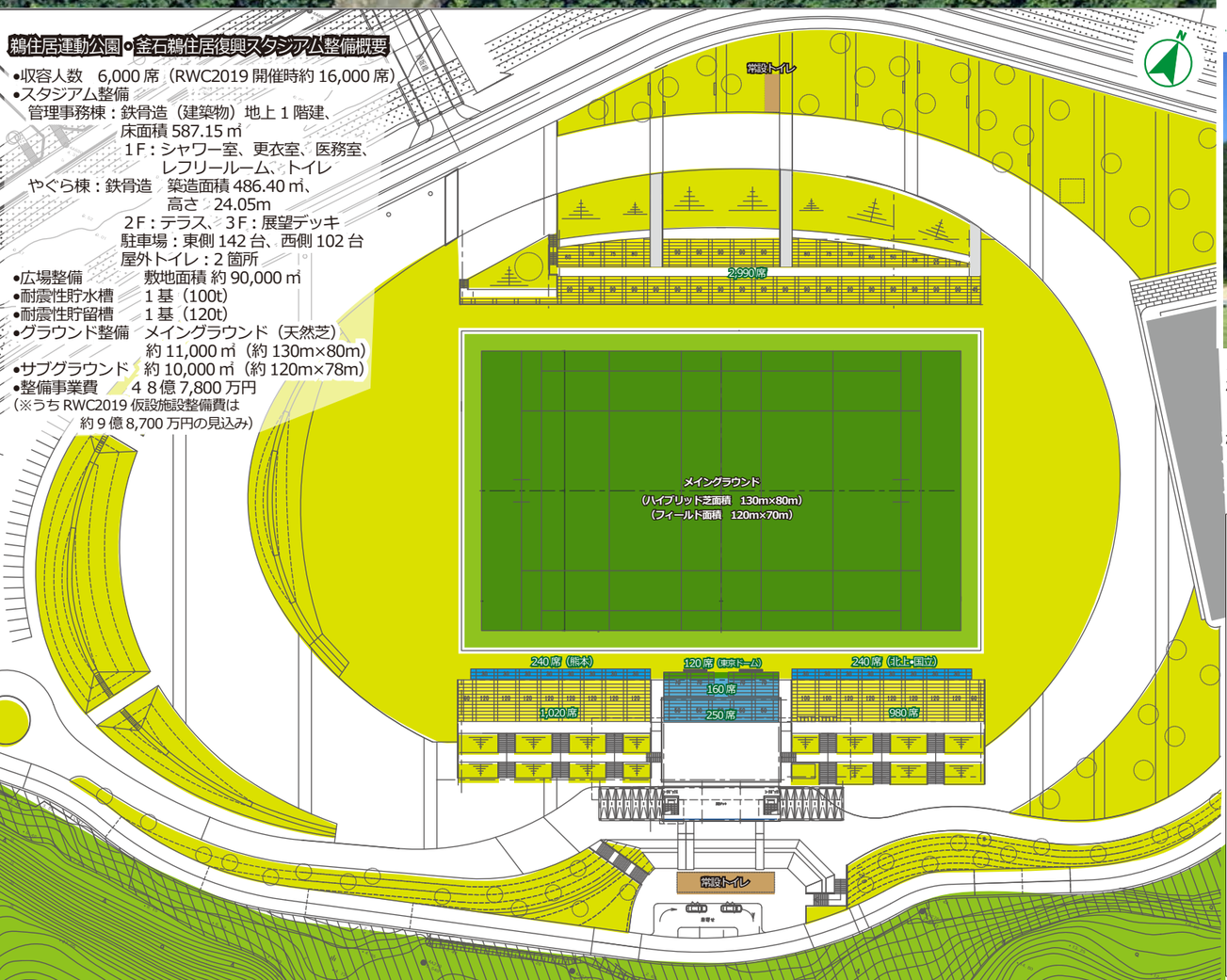
釜石鵜住居復興スタジアム

釜石市

KAMAISHI UNOSUMAI MEMORIAL STADIUM

鵜住居運動公園・釜石鵜住居復興スタジアム整備概要

- 収容人数　6,000 席（RWC2019 開催時約 16,000 席）
- スタジアム整備
  - 管理事務棟：鉄骨造（建築物）地上 1 階建、床面積 587.15 ㎡
    - 1F：シャワー室、更衣室、医務室、レフリールーム、トイレ
  - やぐら棟：鉄骨造　築造面積 486.40 ㎡、高さ　24.05m
    - 2F：テラス、3F：展望デッキ
    - 駐車場：東側 142 台、西側 102 台
    - 屋外トイレ：2 箇所
- 広場整備　敷地面積 約 90,000 ㎡
- 耐震性貯水槽　1 基（100t）
- 耐震性貯留槽　1 基（120t）
- グラウンド整備　メイングラウンド（天然芝）約 11,000 ㎡（約 130m×80m）
- サブグラウンド　約 10,000 ㎡（約 120m×78m）
- 整備事業費　4 8 億 7,800 万円
（※うち RWC2019 仮設施設整備費は約 9 億 8,700 万円の見込み）



市民の夢と希望と勇気を乗せたスタジアム整備へ

釜石市は、2019 年にアジアで初開催されるラグビーワールドカップ 2019™日本大会の復興のシンボルとして、そして将来を担う子どもたちに夢と希望と勇気を与えるため開催都市に立候補し、2015 年 3 月に開催都市に選ばれました。国内１２の開催都市の中で、唯一スタジアム会場を持たなかった当市は、東日本大震災からの復興を目指して次の考え方により『釜石鵜住居復興スタジアム』を新たに整備しました。

①三陸被災地のスポーツ施設不足を解消し、県民が集い、スポーツを楽しめる。
②国際・国内スポーツ大会をはじめ各種多様なイベント開催ができる。(音楽・芸術・国際交流等)
③医療福祉目的の健康体力づくり施設として有効活用できる。
④震災の記憶と防災の知恵を伝える。
⑤ラグビー日本選手権 V7・RWC レガシー (遺産) を伝える。
⑥釜石フィールドミュージアムを構成。(自然環境、歴史文化を野外活動として学習体験)

夢の舞台は防災を象徴する場所ー釜石市立釜石東中学校（下写真左）・釜石市立鵜住居小学校跡地（下写真右）ー

～小中学校生約 600 人が一緒に駆けて逃げたシンボリックな場所～

2011 年の東日本大震災の際、手に手をとって逃げて助かった鵜住居小・東中の児童、生徒たちを含めて、子供たちの率先避難行動は、世界中に広く紹介されました。

小中学校跡地に建設された釜石鵜住居復興スタジアムは、釜石市の防災の考え方を広く発信しながら震災の記憶と防災の知恵を伝えるものです。

スタジアムの特徴

震災からの大きな羽ばたき・新たな船出

メインスタンドの大きな屋根幕は、鳥の羽根や、船の帆をイメージして造られました。これは震災からの大きな羽ばたきや新たな船出とし、復興を目指した新たなスタートをイメージしているものです。
※屋根幕は最長部分で約 67m

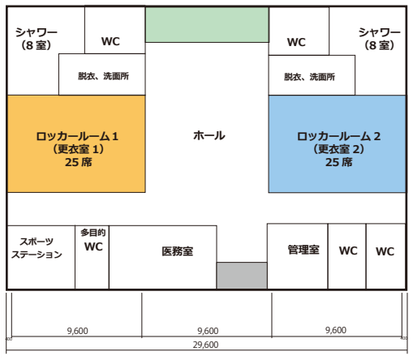
釜石の自然空間が感じられるスタジアムへ

2017 年 5 月に当市で発生した尾崎半島山林火災の被害木（スギ約 800 本）を活用して、木製シート 4,990 席、ベンチ 108 基、トイレ 2 棟、日よけのためのルーバーを設置し、自然豊かな釜石特有の自然空間で、世界中の来訪者をおもてなしします。

他地域との絆が感じられるスタジアムへ

スタジアム整備に伴い、メインスタンドの最前列へ、北上市（旧国立競技場寄贈）、熊本県、東京ドームから寄贈を受けた青い座席を 600 席設置し、「絆シート」として活用することで、多方面からの支援によるスタジアム完成の感謝の気持ちを広く発信するものです。

スタジアム管理等　１階平面図（メインスタンド中央部分１階）



最高のグラウンドコンディションを提供

メイングラウンドには、優れた耐久性と衝撃吸収性のほかメンテナンス性にも優れる、床土改良型のハイブリッド天然芝を採用することで、世界最高のパフォーマンスに必要なグラウンドコンディションを提供することができます。
※床土改良型ハイブリッド芝は釜石が日本初導入

有事の際の緊急避難場所を整備

西側駐車場の裏山（海抜 20m）へ、津波災害時等の緊急避難場所を整備。有事の際に指定の避難場所への誘導等にあたった従事者等の緊急避難場所となるものです。